

POWER METER SJ

POWER METER SJ

“BLITZ”-the ability to progress in parameter of the motor vehicle
Established in 1980,“BLITZ”has revolutionized the automotive industry

取り扱い説明書

BLITZ

パワーメーター SJ 目次

目次	1
安全上のご注意	2
はじめに	2
警 告	2
注 意	3
はじめに確認してください	4
最初に	4
製品の特徴	4
パワーメーターSJの表示馬力	5
製品の構成と各部の名称	6
構成部品及び付属品リスト	6
POWER METER SJ の取り付け作業手順	7
取り付け上のご注意	7
取り付け後の作動確認	7
パワーメーターSJ初期設定値	8
パワーメーターSJを正しく使用していただくために	9
スピードリミッター解除設定	9
速度キャリブレーション設定	9
車両重量入力方法	10
駆動方式選択方法	11
走行抵抗番号入力方法	11
ホイールスピン監視距離設定方法	13
各項目画面の説明と操作方法	13
表示単位の設定方法	13
表示モードの切り替え	14
速度表示モード	14
馬力表示モード	14
DASH計測モード	15
DASH記録表示モード	16
OFFモード	16
故障と思う前に	18
装着可能自動車と製品の仕様	18
本製品についてのご相談先	18
保証書	19
保証書規定	20

安全上のご注意

はじめに

- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・この製品は、車両電源がDC12V車で車体(ボディ)アースの車両専用です。
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中にこの製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えたりしないでください。
作動不良の原因になる場合があります。
- ・この製品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・過給圧の上げ過ぎには、注意してください。
過給圧を上げ過ぎると、エンジン・タービンを破損する恐れがあります。
過給圧の上げ過ぎによる不具合に関して、弊社は一切のその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

はじめに確認してください

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に且つ正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をよくお読みください。

最初に

本製品は車速信号を利用して車両の駆動パワー及びNETパワーを算出表示するデジタルマルチメーターです。車速信号から加速度を算出しますので、車両重量、2WD / 4WDの区別、車種別の補正值(走行抵抗補正)を別途入力するだけで駆動パワー及びNETパワーが算出できます。車重入力はkgとlb(ポンド)入力が可能です。

実際にロードを走行して算出しますので、路面の摩擦抵抗、勾配、空気抵抗なども含まれる為より正確な計測ができ、0PS ~ MAX1200PSに対応します。パワー(馬力)の単位は、P・S・kW・HPより選択が可能です。

また、同時にスピードメーターとしての機能も備えています。0km/h ~ MAX400km/hまで表示可能です。スピード表示はm/h単位表示も可能です。

新たに、スピードリミッター解除機能を装備しました。(その他の電子制御機能が作動し、スピードリミッターが解除できない車両があります。)

[不適合車種一覧表]

車種	年式	車両型式	エンジン型式
セルシオ	94.10 ~	UCF #	#UZ - FE
クラウン	91.10 ~ 95.8	JZS14系	2JZ系
クラウン	99.9 ~	JZS17系	1JZ系
クラウンマジェスタ	95.8 ~ 97.7	UZS15系	1UZ - FE
アリスト	97.8 ~	JZS14・16系	2JZ系
ソアラ	96.8 ~	ZZ30系	1JZ・1UZ系
マーク 系(AT車)	94.9 ~	JZX90・1 # 系	1JZ系

上記の不適合車種一覧表以外の車種で、車速センサー以外のスピードリミッター制御装置装着車及び、車速信号の検知が困難な車両は適合外になりますので、ご了承下さい。

製品の特徴

- ・車両の駆動パワー又は車両スピードをリアルタイムに測定表示。ピークホールド、ターゲット(目標)値設定機能も搭載しており、ターゲット値に達するとバックライトが赤く点灯します。又、スピードピーク時のパワー、パワーピーク時のスピードの確認が可能です。
スピードリミッターカット機能を装備しました。(解除設定値入力方式)
- ・駆動パワー計測 PS(0 ~ 1200PS)、HP(0 ~ 1183HP)、KW(0 ~ 882KW)の選択が可能。また、スピード計測 km/h(0 ~ 400km/h)、MPH(0 ~ 249MPH)の選択が可能です。

- ・DASH計測機能搭載 0 - 200M、0 - 400M、0 - 1000M、(m/h表示選択時は、0 - 1 / 8Mile、0 - 1 / 4mile、0 - 5 / 8mile)の距離計測、0 - 100km/h、0 - 200km/h、0 - 300km/h、100 - 200km/h、200 - 300km/h、(m/h表示選択時は、0 - 50 MPH、0 - 100MPH、0 - 200MPH、50 - 100MPH、100 - 200MPH)の速度計測など各種タイム計測ができ、最大4回のタイムをメモリー(記憶)します。

DASH計測の開始にはカウントダウンスタート方式を採用しました。

- ・視認性、インテリア性を重視した大型LCDを採用。厚みはわずか16mm。取り付けしやすく、操作性に優れたコンパクトな表示器です。
- ・LCD画面上部のバーグラフがスピード又はパワーに連動してリアル値を表示します。
- ・スタート時のホイールスピン量(距離)を任意に設定することにより、ホイールスピン時の異常な馬力値を検知しないようにする事が出来ます。又、走行時に異常と思われる加速度を検知した時は、そのピーク値を更新しないようになっています。

POWER METER SJの表示馬力

本製品は車重と速度の関係より実際にタイヤが路面に対して行う仕事量を演算し駆動馬力として表示しますので実際のエンジン単体での出力や各自動車メーカーが公表している数値(ネット馬力)とは異なります。実際にロードを走行して計測するので、その時々エンジンの発生する馬力から各種抵抗値(転がり抵抗、空気抵抗、駆動ロス)を差し引いた数値が実際の駆動馬力としてリアルタイムに表示されます。これは、各車両の前面投影面積(CdA)から空気抵抗値を演算することによりエンジンの発生する最大馬力を表示します。

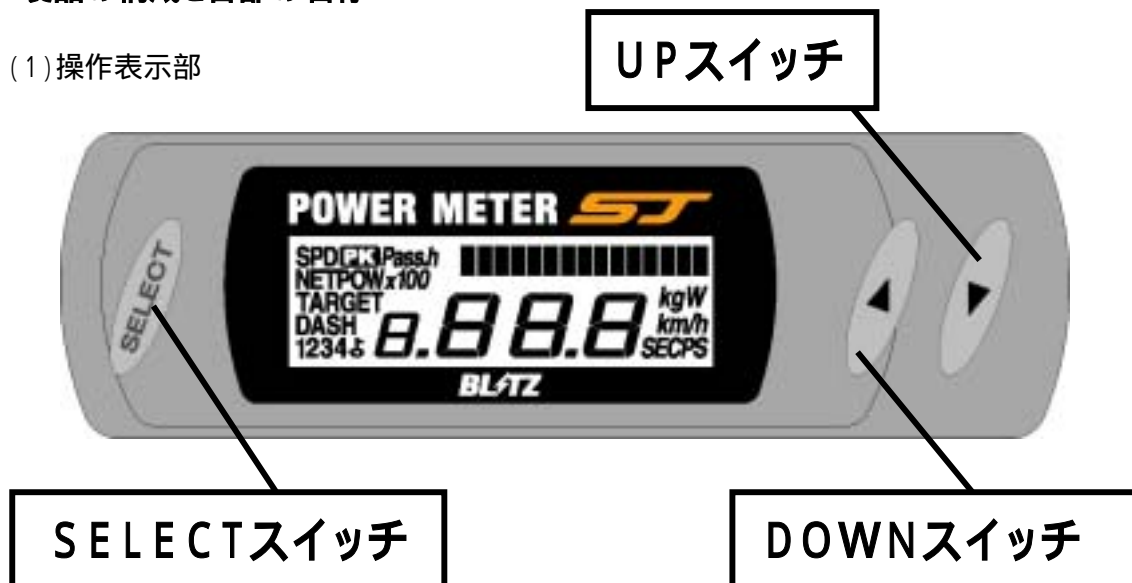
表示画面参照一覧

本取り扱い説明書の画面確認は、以下の画面を参照して下さい。

			
速度表示モード	速度ピークホールドモード	速度RPSホールドモード	速度 TARGET モード
			
速度キャリブレーションモード	スピードリミッター解除モード	アラーム設定 OFF	アラーム設定 ON
			
馬力表示モード	馬力ピークホールドモード	馬力RPSホールドモード	馬力 TARGET モード
			
車両重量入力モード	駆動方式設定モード	走行抵抗値入力モード	DASH 記録表示モード
			
DASH 計測項目 1	DASH 計測項目 2	DASH 計測カウントダウン RDY	DASH 計測カウントダウン GO

製品の構成と各部の名称

(1) 操作表示部



本体サイズ : 86(W) × 26(H) × 16(D)

配線接続位置

車両の以下の系統へ接続してください。

赤色 : メイン電源 (IGN - ONで12Vかかる場所又はACC12V)

黒色 : GND (ボディーアース)

橙色 : 車速信号入力側 (車両ハーネスセンサー側)

茶色 : 車速信号出力側 (車両ハーネスCPU側)

IGN電源・CPU車速パルス接続位置は、付属の「ECU配線図」を参照して下さい。

構成部品及び付属品リスト

部品名	数量	仕様
パワーメーターSJ本体	1	ハーネス長1.5m
接続ハーネス(黒線端子付)	1	赤・黒1.5m 橙・茶2.5m
両面テープ	1	50mm × 15mm
エレクトロタップ	3	
タイラップ	2	
取り扱い説明書	1	保証書兼用
ECU配線図	1	

POWER METER SJの取り付け作業手順

取り付け上のご注意

1. バッテリーのマイナス端子を取り外してください。
 - ・ショートなどによる電装部品の破損や火災を防ぎます。取り付けミスにより車両やその他機器が破損した場合、弊社は一切の責任を負いません。
 - ・カーオーディオやナビゲーションシステムなど、バッテリー電源にてバックアップメモリが失われる事がありますので事前にメモしておく事をお勧めします。
2. POWER METER SJを付属の両面テープ等を使用して運転に支障のない場所へ取り付けください。またエアコンの吹出口や直射日光の当たるダッシュボード上等温度の高くなる場所は避けてください。電子部品の作動温度の限界温度を超えた場合本体が作動不良を起こす場合や、ケースの変形等により操作に支障をきたす場合があります。
3. 接続ハーネスの赤線をIGN + 12Vに付属のエレクトロタップを使用して接続して下さい。
4. 黒線をGND(ボディーアース)が確実にとれる場所に接続して下さい。
5. ECUの車速パルス線を結線できる長さの所で切断します。橙線を切断した車速線のセンサー側に付属のエレクトロタップを使用して接続します。茶線を切断した車速線のECU側に付属のエレクトロタップを使用して接続して下さい。
 - ・電源はDC 12V車専用です。24Vには対応しません。
 - ・GND(ボディーアース)は確実に接地させてください。塗装がのっけたり、アースが不十分な場合は本体が正常に機能しない場合があります。
 - ・車速信号の取りだしは別冊のECU配線図を参照してください。接触不良で車速パルスがうまく入力されないと本体が正常に機能しない場合があります。

取り付け後の作動確認

1. バッテリーのマイナス端子を接続してください。
 - ・しっかり固定し走行中の振動等で外れないようにしてください。
2. IGN - ON後約3秒間は、画面表示が となりバーグラフ上で2セグメントが流れた後、SPD(車速)表示画面になります。2回目以降電源を入れた場合は、IGN - OFFした時の画面になります。但し、前回OFFモードだった場合は、OFFと表示され約3秒後に消灯します。
 - ・画面が表示されない場合は電源系統の異常もしくはコネクターの接触不良等が考えられます。もう一度テスター等で確認してください。
3. エンジンを始動し、SPDの表示がでていることを確認し、実際に走行して車速が表示されることを確認して下さい。各種設定は本取り扱い説明書を参照して正しく設定して下さい。接触不良もしくは取り付け不良の場合、車速が表示されない又は異常値を表示する事があります。再度、ECU配線図を参照し取り付けの確認をしてください。

パワーメーター SJ 初期設定

パワーメーターSJの製品出荷時は、下記表の通りに設定されています。設定を行わないと正常に起動しない項目もありますので、本取り扱い説明書を読んだ上で正しく設定を行うようにして下さい。走行中の設定変更は大変危険を伴いますので、設定を変更する場合は必ず車両が停止した状態で行って下さい。

設定項目	選択項目	初期設定値
表示単位	kg・1b・W・km/h・m/h・PS・HP	km/h・kg・PS
表示モード	リアル・パッシングホールド	リアル
速度ピーク値	自動更新	0 km/h
馬力ピーク値	自動更新	0 PS
速度バーグラフスケール	自動更新	0～100km/h
馬力バーグラフスケール	自動更新	0～100PS
速度TARGET設定値	OFF・10km/h～400km/h (10km/h毎)	OFF
馬力TARGET設定値	OFF・10PS～1200PS (10PS毎)	OFF
TARGET設定値到達時アラーム	ON・OFF	OFF
スピードリミッター解除設定値	OFF・10km/h～400km/h (10km/h毎)	170km/h
速度キャリブレーション設定値	40km/h・80km/h・2P・4P・8P・16P	40km/h (基本設定は4P理論値)
車両重量入力値	10kg～4500kg(10kg毎)	1200kg
駆動方式設定	2WD・4WD	2WD
走行抵抗設定値	15～34(P1毎)	P.0
ホイールスピン監視距離設定値	OFF・1m～99m(1m毎)	OFF
DASH計測測定項目	0 - 200m・0 - 400m・0 - 1000m 0 - 100km/h・0 - 200km/h 0 - 300km/h・100 - 200km/h 200 - 300km/h	0 - 200m
DASH計測記録	自動保持(1～4)	なし
DASH計測記録保持禁止設定	任意設定(1～4)	未設定
バックライト輝度設定値	0(OFF)～100	100

表示単位を変更した場合、全ての単位が選択された単位に変更されます。

海外単位のHP・1bを選択した場合、画面上にその単位は表示されません。

変更された設定や計測した記録は、IGN - OFFにしてもメモリーに保持されています。

パワーメーター S J を正しく使用していただくために

スピードリミッター解除設定

初期設定値は170km/hに設定されていますが、車両により制御する速度域が異なりますので、速度域の設定が必要です。

一般公道を走行する場合、スピードリミッターの解除は絶対に行わないで下さい。本製品のスピードリミッター解除機能はクローズドサーキットなどでの使用を目的とした機能です。

設定方法

画面表示が車速表示モードになっていることを確認して下さい。

DOWN()スイッチを3秒間押し続けると、スピードリミッター解除モードになります。

初期値は170km/hに設定されていますが、スピードリミッターが解除されない場合は、UP()スイッチを押すと制御速度が10km/h毎に上昇し、DOWN()スイッチを押すと10km/h毎に下降します。

スピードリミッターが解除できる値に設定して下さい。設定値の決定は、SELECTスイッチを押して下さい。画面が速度キャリブレーションモードに変わりますので、速度キャリブレーション設定を行って下さい。引き続き設定を行う場合は、次項の速度キャリブレーション設定方法に進んで下さい。

スピードリミッター解除機能を使用しない場合は、DOWN()スイッチを押してOFFに設定して下さい。

注意 一部車両でスピードリミッター解除が出来ない場合があります。

警告 スピードリミッター解除の確認は、一般公道では行わないで下さい。又、専門の知識を持った専門店で行って下さい。

車速キャリブレーション設定

車両側の車速パルス値とパワーメーターS Jの車速検知値が一致していないと、正確な車速表示や馬力表示が出来ません。予め車両の車速パルスが明確な場合は速度キャリブレーションを行う必要な有りませんが、不明な場合やズレが生じていると判断される場合は速度キャリブレーションを行う必要があります。

設定方法

車速表示モードで、DOWN()スイッチを3秒間押し続けると、スピードリミッター解除モードになります。

次にSELECTスイッチを押すと画面に40km/hという表示が点滅します。

キャリブレーション設定の選択は、DOWN()スイッチを押す毎に、40km/h 80km/h 2P 4P 8P 16P 40km/hと変わります。

車両の車速パルスが明確な場合は、その車両に合ったパルス信号値に設定して下さい。その場合、実走する必要はありませんが、より確実な値を求められる場合は40km/h又は80km/hでの速度キャリブレーションを行って下さい。高速走行を基本とする場合は、

80 km/hでの速度キャリブレーションを行うことをお勧めします。

速度キャリブレーションの設定方法は、画面に40 km/h又は80 km/hが点滅している状態で走行し、車載のスピードメーターがその速度になった時にUP()スイッチを押して下さい。表示が早い点滅になり設定が自動的に終了します。設定が終了すると、画面が速度表示画面に切り替わります。

速度キャリブレーションされると、速度ピーク値・馬力ピーク値・バーグラフスケールが初期化されます。

注意 走行中、車載のスピードメーターとパワーメーターSJの表示に若干の相違がでる場合がありますが、故障ではありません。相違が著しい場合はキャリブレーションを再度行って下さい。

車両重量・駆動方式・走行抵抗の入力

パワーメーターSJは車速信号を検知し、加速度によって馬力の演算を行っております。そのため、車両重量・駆動方式・走行抵抗により表示される馬力値が変化しますので、それらの数値を正確に入力しないと、正確な馬力測定を表示することが出来ません。

車両重量入力方法

画面表示が馬力表示モードになっていることを確認してください。(表示モードの変更は、SELECTスイッチを押す毎に切り替わります。画面の左に「NET POW」と表示されている時が馬力表示モードです。)

DOWN()スイッチを3秒間押し続けると、車両重量入力モードになります。初期値は 1200 kgに設定されています。

UP()スイッチを押すと10 kg毎増加し、DOWN()スイッチを押すと10 kg毎減少しますので、適正な数値を入力して下さい。設定を変更すると重量表示が点滅します。

入力する車両重量の目安は、車検証に表示されている車両重量に運転手(自分)の体重と同乗者分の体重・ガソリン重量・その他装備品の重量を加算します。コーナウエイトゲージなどを使用して車両重量を計測すると、より正確な値が入力できます。ガソリン重量や装備品重量など良く判らない場合は、車検証に記載されている車両重量を1.1倍し、1桁目を四捨五入して下さい。

この場合、表示される値は目安程度であることを了承して下さい。車両重量入力を実際の重量よりも少ないと馬力も少なく表示され、逆に実際に重量よりも多いと馬力も多く表示されます。

車両重量の入力値を決定するには、SELECTスイッチを押して下さい。画面が駆動方式の設定画面に切り替わりますので、駆動方式の設定を行って下さい。引き続き設定を行う場合は、次項の駆動方式選択方法へ進んで下さい。

車両重量を変更すると、馬力ピーク値がリセットされます。

駆動方式選択方法

画面表示が馬力表示モードになっていることを確認してください。(表示モードの変更は、SELECTスイッチを押す毎に切り替わります。画面の左に「NET POW」と表示されている時が馬力表示モードです。)

DOWN()スイッチを3秒間押し続けると、車両重量入力モードになります。

もう一度DOWN()スイッチを押すと駆動方式選択モードになります。初期値は2WDに設定されています。UP()スイッチ又はDOWN()スイッチを押す毎に、2WD・4WDが交互に切り替わります。(2WD / 4WDの選択を行います。)

決定は、SELECTスイッチを押して下さい。画面が切り替わり、走行抵抗番号入力モードになりますので、走行抵抗番号の入力を行って下さい。次項に進んで下さい。

NISSAN SKYLINE GT-Rなどのトルクスプリットタイプの4WD車両に関しては、2WDに設定して下さい。

駆動方式を変更すると、馬力ピーク値がリセットされます。

走行抵抗番号の入力方法

表示が馬力表示モードになっていることを確認してください。(表示モードの変更は、SELECTスイッチを押す毎に切り替わります。画面の左に「NET POW」と表示されている時が馬力表示モードです。)

DOWN()スイッチを3秒間押し続けると、車両重量入力モードになります。

もう一度DOWN()スイッチを押すと駆動方式選択モードになります。

もう一度DOWN()スイッチを押すと走行抵抗番号入力モードになります。

初期値はP:0に設定されています。

本取り扱い説明書P12の走行抵抗補正係数一覧表を参照し、車両に適合する値を入力して下さい。UP()スイッチを押す毎に数値が増加し、DOWN()スイッチを押す毎に減少します。設定数値は-15～34まで1ポイント毎です。

決定は、SELECTスイッチを押して下さい。画面が切り替わり、ホイールスピン監視距離設定モードになりますので、ホイールスピン監視距離設定の入力を行って下さい。次項へ進んで下さい。

走行抵抗番号が変更された場合、馬力ピーク値がリセットされます。

- ・走行抵抗補正係数一覧表は、ノーマル車両を基準に算出していますので、タイヤの扁平率拡大による摩擦係数の増加やエアロパーツ装着による空気抵抗の低減などで変化します。設定数値が小さい値だと、走行抵抗が少ないと判断されるためロス馬力が少なく表示されます。設定数値が大きくなると、走行抵抗が増加したと判断されるためロス馬力が多く表示されます。走行抵抗補正係数一覧表に適合する車型がない場合は、ボディータイプ・排気量などが同様な車型の数値を入力して下さい。

走行抵抗補正係数一覧表

種別	車種	補正係数
軽自動車	ガブチノ・ミラ・アルト・AZワゴン	- 2
1000cc以下のミニバン	ムーブ・ワゴンR・ライフ・トッポ BJ	+ 1
1000cc～1600ccのNA車	マーチ・キューブ・パルサー・レビン・加ローセレス・加ローラFX	- 2
	シビック・CR-X・インテグラ・ユーノスロードスター・ミラージュ	- 2
1600cc以上のターボ車 3000cc以下のスポーツ車	ソアラ・アリスト・マーク 70 スーブラ・MR2・セリカ・カレン	0
	MRS・アルテッツァ・スカイライン・シルビア・180SX・ローレル	0
	セフィーロ・ブルーバード・フェアレディZ	0
	GTO・FTO・ランサー・エクリプス・キャラン・NS-X・S2000	0
	ユーノスコスモ・RX-7・ファミリア・インプレッサ・ジエミ	0
セダン系	セルシオ・クラウン・カリーナ・コロナ・加ローラ・カムリ・ウイング	+ 2
	シーマ・セドリック・レバード・ローレル・プリメーラ・ブルーバード	+ 2
	ランサー・ディアマンテ・キャラン・レジェンド・インスパイヤー	+ 2
	アコード・レガシー・スターレット(ターボ)	+ 2
ステーションワゴン系	カルディナ・bB・ファンカーゴ・セフィーロ・ステージア・プリメーラ	+ 2
	アベニール・ウイングロード・レグナム・リベロ・アコード・カハラ	+ 2
	レガシー・インプレッサ・フォレスター	+ 2
ミニバン系	エスティマ・タウンエースノア・イブサム・スバシオ・ガイア・ナディア	+ 3
	RAV4・プレサージュ・パッサ・セレナ・リハティエ・ティノ・MPV	+ 3
	RVR・シャリオグランディス・ブレマシー・オデッセイ・ステップワゴン	+ 3
	SM-X・HR-V・ストリーム	+ 3
SUV系	グランビア・ハリヤー・グランゴハイエース・エルグランド	+ 5
RV系	ランドクルーザー・ハイラックス・パジェロ・ビュッホン	+ 8
その他	80 スーブラ	- 5
	ウイッツ	- 6

補正係数値はノーマル車両を基準に算出していますので、空力パーツ(エアロ)等により大幅に空気抵抗が異なっている車両や、ウイングなどで極端にダウンフォースを発生させている車両は、必ずしも上記ボディータイプで選択できない場合があります。

お客様の車両が表にない場合は、排気量やボディー形状の同様な車種を表中より探し、その車両の補正係数を入力して下さい。

ホイールスピン監視距離設定方法

表示が馬力表示モードになっていることを確認してください。(表示モードの変更は、SELECTスイッチを押す毎に切り替わります。画面の左に「NET POW」と表示されている時が馬力表示モードです。)

DOWN()スイッチを3秒間押し続けると、車両重量入力モードになります。

もう一度DOWN()スイッチを押すと駆動方式選択モードになります。

もう一度DOWN()スイッチを押すと走行抵抗番号入力モードになります。

もう一度DOWN()スイッチを押すとホイールスピン監視距離設定モードになります。初期設定値はOFFに設定されています。

UP()スイッチを押すと距離数が1m毎増加します。DOWN()スイッチを押すと1m毎減少します。設定は1m～99mまでの設定が可能です。入力した設定値は、車両の停止状態から設定した距離に達するまで馬力の計測を行いません。この設定をすることにより、“0”スタート時のホイールスピンによる異常な馬力値を除外することが出来ます。設定された距離に達するまで、画面には“SPn”と表示されます。

決定は、SELECTスイッチを押して下さい。画面が切り替わり、馬力表示画面に戻ります。

以上で、速度表示・馬力表示に関する設定は終了です。

設定、変更、更新された数値は、IGN - OFF後もメモリーされています。

各項目画面の説明と操作方法

表示単位の設定

パワーメーターSの表示単位を変更することが出来ます。表示単位を変更することにより、海外での使用にも対応しています。変更できる単位は下記の通りです。

kg・km/h・PS (国内標準表示単位) 製品初期設定値

kg・km/h・kW (PS:馬力 kW:仕事量に変更)

1b・m/h・HP (海外表示単位 m/h:マイル表示 1b:ポンド表示)

1b・m/h・kW (HP:ホースパワー kW:仕事量に変更)

海外表示単位の「1b(ポンド)」「HP(ホースパワー)」を選択した場合、画面にその単位は表示されません。

表示単位を変更した場合、全てのモードでの単位が選択された単位に変更されます。

表示単位設定方法

SELECTスイッチを押しながらIGN - ON(電源ON)すると、表示単位設定モードになります。初期設定値は上記単位設定の に設定されています。

UP()スイッチを押す毎に上記単位設定が の順で切り替わります。DOWN()

WN()スイッチを押す毎に上記単位設定が の順で切り替わります。

決定は、SELECTスイッチを押して下さい。画面表示が となりバーグラフ上で2

セグメントが流れた後、IG - OFF時の表示画面になります。

表示単位を変更した場合、車両重量値とスピードリミッター解除設定値は自動的に換算計算されますが、DASH計測記録が全てリセットされます。

表示モードの切り替え

パワーメーターSJの表示モードの切替は、SELECTスイッチにて行います。切り替わるモードはSELECTスイッチを押す毎に、車速表示 馬力表示 DASH計測 DASH記録 OFF 速度表示の順で切り替わります。(表示単位は初期設定値)

速度表示モード

速度表示モードでは下記の機能が使用できます。

速度のデジタル表示(リアル/パッシングホールド)

速度表示画面でDOWN()スイッチにて切り替え。(画面左上Pass.h表示)

速度ピーク値表示(速度ピーク時の馬力表示/ピーク値のリセット)

速度表示画面でUP()スイッチにて切り替え。(画面左上PK表示)

速度ピーク値表示中にUP()スイッチを押している間、速度ピーク時の馬力を表示します。速度ピーク値のリセットは、速度ピーク値表示中にUP()スイッチとDOWN()スイッチを同時に押して下さい。

速度TARGET値設定(OFF・10km/h～400km/h)

設定した速度に達すると、画面が赤くなりアラームを鳴らす事が出来ます。

速度表示画面でUP()スイッチを約3秒間押して下さい。(画面左中央TARGET表示)

UP()スイッチを押すと10km/h毎に上昇します。DOWN()スイッチを押すと10km/h毎に下降します。TARGET速度を決定するには、SELECTスイッチを押して下さい。アラーム選択画面に切り替わり、UP()スイッチ又はDOWN()スイッチを押して、アラームのON・OFFの設定を行います。速度TARGET値を設定しない場合は、設定値をOFFにして下さい。

スピードリミッター解除設定(OFF・10km/h～400km/h)

速度キャリブレーション設定(40km/h・80km/h・2P・4P・8P・16P)

の操作に関しては、P9 の各設定項目を参照して下さい。

馬力表示モード

馬力表示モードでは下記の機能が使用できます。(表示単位は初期設定値)

馬力のデジタル表示(リアル/パッシングホールド)

馬力表示画面でDOWN()スイッチにて切り替え。(画面左上Pass.h表示)

馬力ピーク値表示(馬力ピーク時の速度表示/ピーク値のリセット)

馬力表示画面でUP()スイッチにて切り替え。(画面左上PK表示)

馬力ピーク値表示中にUP()スイッチを押している間、馬力ピーク時の速度を表示します。馬力ピーク値のリセットは、馬力ピーク値表示中にUP()スイッチとDOWN()ス

スイッチを同時に押して下さい。

馬力TARGET値設定(OFF・10PS～1200PS)

設定した馬力に達すると、画面が赤くなりアラームを鳴らす事が出来ます。

馬力表示画面でUP()スイッチを約3秒間押して下さい。(画面左中央TARGET表示)

UP()スイッチを押すと10km/h毎に上昇します。DOWN()スイッチを押すと10km/h毎に下降します。TARGET馬力を決定するには、SELECTスイッチを押して下さい。アラーム選択画面に切り替わり、UP()スイッチ又はDOWN()スイッチを押して、アラームのON・OFFの設定を行います。馬力TARGET値を設定しない場合は、設定値をOFFにして下さい。

車両重量入力(10kg～4500kg)

駆動方式選択(2WD/4WD)

走行抵抗番号入力(-15～34)

ホイールスピン監視距離値設定(OFF・1m～99m)

の操作に関しては、P10～13の各設定項目を参照して下さい。

DASH計測モード

・DASH計測モードでは下記の機能が使用できます。(表示単位は初期設定値)

0 - 200m到達時間の計測(カウントダウンスタート方式)

0 - 400m到達時間の計測(カウントダウンスタート方式)

0 - 1000m到達時間の計測(カウントダウンスタート方式)

0 - 100km/h到達時間の計測(カウントダウンスタート方式)

0 - 200km/h到達時間の計測(カウントダウンスタート方式)

0 - 300km/h到達時間の計測(カウントダウンスタート方式)

100 - 200km/h到達時間の計測(100km/hに達した時点から自動計測開始)

200 - 300km/h到達時間の計測(200km/hに達した時点から自動計測開始)

DOWN()スイッチを押す毎に、 **の順で切り替わ**
ります。

測定方法

“0”スタート計測項目に関しては、各項目設定後UP()スイッチを押すとバックライトが赤く変わり「rdy」の表示が出てカウントダウンが始まります。バーグラフも同時に全点灯になり、カウントダウンに合わせて4セグずつ消灯します。バーグラフが全消灯したと同時にバックライトが緑に変わり、「Go」と表示されます。但し、実際に計測が始まるのは「Go」の表示に関係なく、UP()スイッチを押した後、車速を検知した時点から計測が始まりますので、フライングやフリクションタイムロスなどは計測されません。計測中はストップウォッチ画面に切り替わります。計測が終了した時点で、アラームが鳴り1秒毎に到達タイム表示と到達時速度を表示します。

中間加速計測に関しては、項目設定後UP()スイッチを押すと「Go」の表示が出ます。計測開始速度になると、自動的にタイム表示画面に切り替わり計測が始まります。計測中はストッ

プウォッチ画面に切り替わります。計測が終了した時点で、アラームが鳴り1秒毎に到達タイム表示と到達時馬力を表示します。

計測中を中断する場合は、計測中にUP()スイッチ又はDOWN()を押して下さい。画面が項目設定画面(現在計測中の項目)に切り替わります。

DASH記録表示モード

・ DASH計測モードで計測した記録を、表示確認することが出来ます。

記録できる回数は最大4回です。計測した記録を更新しないようにロックすることも出来ます。記録番号のロックは、任意に選択することが出来ます。4つの記録を全てロックすることは出来ません。最大3つの記録までです。4つ目の記録をロックしようとするアラームが鳴ってロックできないことを知らせます。その記録をロックしたい場合は、ロックされている他の記録番号を解除して下さい。ロックの方法は、表示中にDOWN()スイッチを押して下さい。記録番号の右端に鍵のマークが記録番号と共に点滅します。ロックの解除は、鍵のマーク点滅中にDOWN()スイッチを押すと、鍵のマークが消えます。鍵のマークが点滅している記録番号は、計測記録が更新されません。

DASH記録表示モードを選択した時(画面を切り替えた時)は、最後に記録した記録番号が表示されます。(表示している記録番号が点滅します)

DASH記録番号の切り替えは、UP()スイッチを押す毎に「1 2 3 4 1」の順で切り替わります。

記録の表示は、距離到達タイム(0 - 200m等)の場合1秒毎に「計測項目」「タイム」「到達時速度」を表示します。速度到達タイム(0 - 100km/h等)の場合、1秒毎に「計測項目」「タイム」「速度到達時馬力」を表示します。

記録番号に何も記録されていない場合は、- - . - と表示されます。

計測可能なタイムは、0 ~ 99.9秒(0.1秒毎)です。

計測記録をクリアーにしたい場合は、UP()スイッチを約3秒間押して下さい。アラームが鳴り全ての記録がクリアーされます。(記録をロックしてある場合でもクリアーされます。)

OFFモード

・ OFFモードでは下記の機能が使用できます。

画面の消灯

DASH記録表示モードで、SELECTスイッチを押すと、OFFと表示され約3秒後にバックライトとLCD表示が消灯になります。OFFモード中にSELECTスイッチを押すと、速度表示画面になります。OFFモード中にUP()スイッチ又はDOWN()スイッチを押すと、輝度調整モードになります。(そのまましばらくスイッチを押さないと画面は消灯します。)

バックライト輝度調整

画面のバックライト照明の明るさを調整することが出来ます。

OFFモード中(画面にOFFと表示されている間、又は画面消灯中)にUP()スイッチ又はDOWN()スイッチを押すと、輝度調整モードになります。DOWN()スイッチを押すと輝度数値が減少し、バックライト照明が暗くなります。(0は消灯です。)UP()スイッチを押すと輝度数値が上昇しバックライト照明が明るくなります。調整範囲は0～100です。バーグラフが数値と同調し増減します。

オールリセット

全ての設定や記録値を初期設定値に戻すことができます。

OFFモード中(画面にOFFと表示されている間、又は画面消灯中)に、UP()スイッチとDOWN()スイッチを約1秒間同時に押すと、輝度数値表示後バックライトが赤くなり画面に ALL と表示され、約1秒後に CLr と表示されアラーム音と共に画面が初期画面になります。約3秒間の初期画面表示の後、車速表示画面になりますので、再度使用する場合は車両に合った初期設定を行って下さい。

故障と思う前に

故障と判断する前に下記の点をもう一度確認してください。

【配線ミスやコネクターの挿し込みは確実ですか？】

【電源は確実に12Vとれていますか？】

場所によっては走行したり他の電子機器が作動すると電圧降下を起こし本体が正常に作動しない事があります。

【アース線(黒色線)は確実にボディーアースしていますか？】

塗装がのっていたり走行中の振動などでアース不良を起こすと本体が正常に作動しない事があります。

【エレクトロタップ等は確実に導線していますか？】

車速センサー等は結線が不十分だとスピードの入力ができたりできなかつたりします。

一部車両は車速センサーの検出ができず取り付けが不可の車両があります。その場合は販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

【操作方法は正しいですか？】

もう一度本説明書をよく読み確認してください。

上記項目をご確認いただき本製品が正常に作動しない場合は、本製品の使用を中止してお買い上げ販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

装着可能自動車と製品の仕様

装着車種:電源回路がDC12V車

(車速センサーのパルスピックアップの可能な車両)

製品名称:POWER METER SJ

製品番号:15076

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

連絡先 (株)ブリッツサポートセンター TEL 0422-60-0515

住 所 東京都西東京市新町4-7-6 FAX 0422-60-0521

URL <http://www.blitz.co.jp/>